

自叙伝の続編「近想遠望」を
発刊した長尾さん



続編のタイトルは「近想
遠望」。長尾さんの造語で、
いる。

自叙伝の続編「近想遠望」を
発刊した長尾さん

さんは、岡山大医学部付属
病院勤務や米国留学などを
経て、2003年に香川大
学長を務めた。20年に半生
をまとめた自叙伝を発刊し
ている。

医療職を志す若者に心構
えや使命感を再認識しても
らおうと、香川大学前学長
で同大医学部付属病院長も
務めた長尾直吾さん(79)が、昨年出
版した自叙伝の続編を発刊
した。米国留学や大学・病
院経営などの経験を通じて
得た教訓などを紹介すると
ともに、新型コロナウイル
スの感染拡大を踏まえ、今
後はさまざまな疾病や感染
症に即応できる総合診療医
が不可欠になると強調して
いる。

脳神経外科専門医の長尾
さんは、岡山大医学部付属
病院勤務や米国留学などを
経て、2003年に香川大
医学部付属病院長に就任。
11年から6年間、香川大の
学長を務めた。20年に半生
をまとめた自叙伝を発刊し
ている。

長尾さん(香川大前学長)が自叙伝続編

医療職を志す若者に心構
えや使命感を再認識しても
らおうと、香川大学前学長
で同大医学部付属病院長も
務めた長尾直吾さん(79)が、昨年出
版した自叙伝の続編を発刊
した。米国留学や大学・病
院経営などの経験を通じて
得た教訓などを紹介すると
ともに、新型コロナウイル
スの感染拡大を踏まえ、今
後はさまざまな疾病や感染
症に即応できる総合診療医
が不可欠になると強調して
いる。

脳神経外科専門医の長尾
さんは、岡山大医学部付属
病院勤務や米国留学などを
経て、2003年に香川大
医学部付属病院長に就任。
11年から6年間、香川大の
学長を務めた。20年に半生
をまとめた自叙伝を発刊し
ている。

留学や病院経営から教訓

コロナ下、後進へエールも

最近の世相や現象から遠く
未来を展望する意味を込め
たといつ。

本書によると、自身の世
界觀を大きく変えたのは米
国留学。さまざまな人種や
文化に接する中で、自分自身
の基礎になつたなどと振り返
っている。大学・病院経営
では、学生の海外派遣事業
に注力した日々や、友人に
叱咤激励されながら慣れな
い経営に当たつたことなど
の経験が人としての成長に
つながったとしている。

長引く新型コロナを巡
っては、医療現場は専門知識
を持つ医者や看護師らが
不足していると指摘。「今
後、未知のウイルスの世界
的大流行など、あらゆる事
態に備え対応できる体制づ
くりが重要」とした上で、「
世界の医療レベルを知り、
国内外に人脈を増やすこと
は大きな糧となる。コロナ
が収束した際には海外に出
て最先端の知識や技術を吸
收し、努力を重ねて地域医
療に貢献してほしい」と後
進にエールを送っている。

A5判、109頁。16
50円。県内の主な書店の
ほか、アマゾンのサイトで
購入できる。